

# 人材育成学会第4回研究会 若年世代の育成とマネジメント～成熟度のバラツキを超えて

## テーマ設定の背景

近年若年世代において、フリーターの激増、離職率の高止まり、成熟の遅れ、職場不適應の増大など人材育成上の問題が深刻化している。行政を中心にして若年者の雇用促進策が図られつつあるが、現状は十分な成果をあげているとはいえない。また総じて未成熟な傾向は示しているものの、社会に出てすぐに第一線で活躍する若者も数多く出ており、社会人としての成熟の度合いに大きなバラツキが見られる。

一方、企業においては競争の激化に伴い若年世代の早期戦力化を図りつつあるが、人員のリストラによるOJT機能の低下などにより十分な効果をあげているとはいえない。総じて、より手間のかかる若年世代の育成に対して、手をかけることができないというジレンマが存在している。

## テーマの趣旨

以上のような状況下で、若年世代の効果的な育成の方途を探ることは当学会が取り上げるにふさわしいテーマといえよう。若年世代の雇用促進という社会政策的な処置は手厚く実施されつつあるとの認識の下に、当研究会では「若年世代の育成とマネジメント～成熟度のバラツキを超えて～」というテーマで、若年世代の効果的な育成に向けての取組み状況を取り上げる。

## 研究会の内容

若年世代の送り手である教育界、受け手である産業界、両者の間をつなぐ行政の3部門から、ゲストスピーカーを招いて、「成熟度のバラツキ」を踏まえた取組状況について報告してもらい、その後参加者との質疑応答で内容を掘り下げる。  
(大泊 剛)

## ゲストスピーカー

- ◎ 教育界：小塩明伸氏 東京都教職員研修センター 研修部 企画課 指導主事  
進路指導の現状，課題，取組状況及び今後の展望等
  - ◎ 産業界：宮地秀親氏 株式会社NTTデータ 人事部 人事担当部長  
高学歴者の雇用・育成・評価の現状，課題，取組状況及び今後の展望 等
  - ◎ 行政：木村 周氏 労働政策研究・研修機構 リサーチアドバイザー 東京成徳大学院 客員教授  
雇用行政の現場から見た若年者雇用の現状，課題，取組状況及び今後の展望 等
- 司会 ◎大泊 剛：人材育成学会副会長 株式会社人事工学研究所 代表取締役所長

日時：2004年11月14日（日）13：30～16：45 （懇親会 17：00～18：00）

会場：（学）産業能率大学 代官山キャンパス （前回の自由が丘キャンパスとは異なります）

## プログラム

13:00———開場，受付

13:30—13:40 【開会挨拶】大泊 剛（株式会社人事工学研究所／人材育成学会副会長）

13:40—15:50 【講演】

（途中休憩有）「進路指導の現状，課題，取組状況及び今後の展望」小塩明伸氏

「高学歴者の雇用・育成・評価の現状，課題，取組状況及び今後の展望」宮地秀親氏

「雇用行政の現場から見た若年者雇用の現状，課題，取組状況及び今後の展望」木村 周氏

15:55—16:45 【フロアを含めた質疑応答】 司会：大泊 剛

17:00—18:00 【懇親会】